

令和6年度第3回千葉県地域リハビリテーション協議会開催結果概要

- 1 日 時 令和7年3月11日(火) 18時00分～20時15分
- 2 会 場 オンライン開催
- 3 出席者 協議会員総数16名中15名出席(うち1名は報告事項からの参加)
荒井泰助協議会員、飯田政則協議会員、飯高智子協議会員、岩本明子協議会員、
薄直宏協議会員、川越正平協議会員、金井要協議会員、菊地尚久協議会員、佐藤恵美
子協議会員、高木憲司協議会員、武田從信協議会員、長谷川美穂協議会員、松尾真輔
協議会員、村田淳協議会員、米内聖子協議会員(50音順)
オブザーバー1名出席(田中康之氏:県リハビリテーション支援センター)
- 4 会議次第
 - 1) 開会
 - 2) 議事
 - (1) 議事事項
 - ① 地域リハビリテーション広域支援センターの次期指定に係る審査について
 - (2) 報告事項
 - ① 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業について
 - ② 各支援センターの令和6年度活動結果について
 - (3) その他
 - 3) 閉会
- 5 会議結果概要
 - 1) 開会
 - 2) 議事
 - (1) 議事事項
 - ① 地域リハビリテーション広域支援センターの次期指定に係る審査について
今回の資料には、千葉県情報公開条例第8条第2号3号及び6号の不開示情報が含まれてい
るため、同条例第27条の3に基づき、公開しないことと決定したうえで、申請のあった医療機関
に対する審査を実施し、滞りなく終了した。
 - (2) 報告事項
 - ① 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業について
事務局から資料2について説明し、以下のとおり質疑があった。

(金井協議会員)
有事における地域リハビリテーション行動指針策定事業について、本事業は入札等行わ
ず同じ事業者が継続して実施するのか。

(事務局)
随意契約により、千葉リハビリテーションセンターに実施していただく予定としている。
 - ② 各支援センターの令和6年度活動結果について
県支援センター及び各広域支援センターの担当者から、資料3について説明があり、以下の
とおり質疑及び意見があった。

(川越協議会員)

各圏域で工夫のある取組を進めている点は評価したいが、地域リハビリテーションを推進する観点でいえば、独自部分と共通部分の物事の進捗を数字等で共通して把握できるようまとめ方の工夫があると良いのではないかな。

(事務局)

今後の参考とさせていただく。

(高木協議会員)

市原圏域の報告の中で ALS の個別支援事例の話に関連して、県の地域リハビリテーション協議会の意義は、リハビリテーションの高度な専門的技術を届かない人に届けていくことが重要だと感じているが、未だ十分に浸透していない印象がある。専門的な技術と言えない部分は、立ち上げの部分は手伝いながらも、地域に委譲し、リソースが限られているため、そういった点に主眼を置いていくことも重要だと考える。

(荒井協議会員)

有事における地域リハビリテーション行動指針策定事業について、進捗状況は随時協議会等で開示していただけるのか。

(千葉県リハビリテーション支援センター)

当該事業の進捗状況については、研修会等開催毎に県に報告を行っている。全国的に例がなく、手探りの部分もあるが、来年度についても県に随時報告を行うとともに、協議会や広域支援センターにも適宜情報共有をしていく予定である。

(荒井協議会員)

できあがると素晴らしいものだと思う。是非お願いしたい。

(岩本協議会員)

広域支援センターの指定要件には言語聴覚士が常勤していることとなっているが、現在、言語聴覚士がうまく地域リハ事業に関わっていない面がある。失語症や嚥下障害に加え、市町村において加齢性難聴に対する取組も増えている。

令和7年度に、広域支援センターに勤務している言語聴覚士の情報交換会を、千葉県言語聴覚士会と広域支援センターで共同開催したいと考えている。詳細が決まり次第、案内を行うのでぜひご参加いただきたい。

(オブザーバー 田中氏)

川越協議会員の御意見に関して、圏域毎のリソースの差や、ターゲットの違いもあるため、数値として同じフォーマットで示すのが難しい部分はある。千葉県自体は比較的各圏域の足並みは揃っているため、今後工夫して行っていく。

高木協議会員の御意見に関して、高度なリハビリテーション技術も当然大切ではあるが、地域リハビリテーションとしては地域を繋ぐ草の根的活動も重要視している。今後とも御意見をいただきたい。

荒井協議会員の質問について、災害関連事項は全広域支援センターが取り組むべき内容として、過去に開催したあり方検討会でも共通認識となっているため、そこも含めて有事における地域リハビリテーション行動指針策定事業の報告していきたい。

言語聴覚士の活動について、広域支援センター担当者の中にも言語聴覚士がいるため、是非今後も協力していきたい。

(3) その他

事務局から諸連絡を行った。

3) 閉会